

## 「ビジョンの継続重要」

日本サッカー協会 田嶋副会長が講演

県サッカー協会の講演会は4日、富山市の高志会館で開かれ、日本サッカー協会の田嶋幸三副会長が写真が奥の関係者ら約130人を前に「夢、ビジョンを継続することが重要。地道に地道にやっていくことが成功する近道であり、唯



一の道」などと話した。国際サッカー連盟(FIFA)の理事も務める田嶋氏は「世界を目指す日本サッカーはスポーツが果たす社会貢献について」と題し、スポーツを文化として育成するリーグの取り組みなどを説明。なでしこ

ジャパンや全国高校サッカー選手権を制した富山高を例に挙げ「10年、20年前から世界一、日本一になることを考えて取り組

んできた積み重ねが実を結んだ。スポーツを文化として根付かせるためにも50年、100年後を見据えてやっていく」と述べた。

今季、J3で苦戦が続いたカターレ富山についても「今はつらい時かもしれないが、長い目で見守ってほ

しい」と要望した。

田嶋氏と日本サッカー協会スポーツマネージャーズカレッジ講師でプライム建築都市研究所の田辺芳生氏、NPO法人富山スポーツコミュニティケーションズの佐伯仁史理事長によるパネル討論も行われた。

地域社会